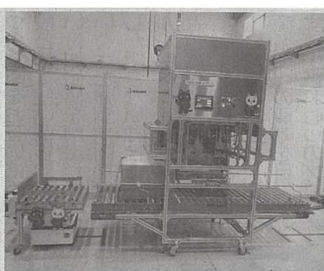


内袋広げ 完全自動化

アルトリスト、食品工場向け

アルトリスト（東京）全自動化装置を開発し、都調布市、橋田浩一社に、1ラインにつき1長は、食品メーカー向け2人を要していた同作業に内袋広げ作業の完全自動化できるだけ

日刊工業新聞
2026年5月19日掲載



でなく、前工程の段ボール箱開梱作業や後工程の搬送までを円滑につないでライン全体を自動化できる。従来、食品工場には開梱作業のロボットはあるものの、次工程の内袋広げは人手で行う必要があり完全自動化が困難だった。基本システムの消費税抜きの価格は3000万円程度。年5台の販売を目指す。大手乳業メーカーや製菓メーカーなどに売り込む。これらの工場では食品を注入するプ

ラスチック容器が数百個入った資材用段ボール箱などがコンベヤーで送られてくる。プラスチックは整列した状態で袋の中に詰められており、取り出すにはまずこの袋を開封して広げる必要がある。広げる作業をロボットにやらせる。袋を吸着した際にノズルが袋と固定化して破いてしまい、中身のプラスチックが散乱してしまうという。アルトリストはこの問題を新開発のノズルで解決した。ノズルが段ボール内の袋を吸着しながら持ち上げ、先端を折り返すことで容器を取り出しやすくする。吸着時の接触面を

特殊な構造にすることで実現した。同社は段ボール開梱ロボットシステムなどを製品化済みで、「現場を開発した内袋広げ作業自動化装置

知り尽くした知見で開発できた（橋田社長）。装置の寸法は幅2550mm×奥行1060mm×高さ2300mmだ。